

若者附中

熊本大学教育学部附属中学校

学校だより

平成30年5月25日

第4号

《文責：高木》

を守っていたのだいた
ことはもちろん、P
TAのハッピーを子で
巡視をしていたたい
たり、立入禁止の場
所に居てもらったり
と、その者のおかげ
で安心して大会の運
営ができました、本当にありが
とうございました。

感動・体育大会として感謝

「これは、延期かもしれない……」
体育大会総練習が終わったあと、
週間天気予報を見ていた私は、
そう思っていました。

ところが、天は私運に味方し
てくれました。前日の夕方から
降り出した強い雨も夜半にはあ
がり、朝5時にはグラウンドには
水たまりはなく、天気予報
もくもりの晴れ。
5時45分の入場行進
からはじまり、どの祝
技も練習の成果が発揮され
充実した、しかも凍とした大会
となりました。生徒諸君の正々
堂々と一生懸命にかんがる姿は、
とても美しく感動しました。こ
れぞ、附中生です。



大会終了後の解田式では、ど
の田からも〇〇田ありがとつと
自然に他の田とのエール交換が
はじまり、それに笑顔で手をふ
りこたえるという光景がみられ
ました。まさに互いに認めあい
高めあい、生徒のみならず、
響きあった祭品のようにも見え
ました。響きあいとは、
互いに感謝することと、
もあるということと、
あつたためて生徒諸君が
ら学ばせてもらった気がしてい
ます。

また、保護者の皆様には、体
育大会の準備段階から様々な御
協力をしていただき感謝してい
ます。大会当日も観覧のマナー

諦めないことの大切さ

三年二組 今村

みなさんは、何かを諦めず成
しとげたことがありますか。私
は今まで、先入観で物事を決め
つけ、できなさそうなのはす
ぐに諦めていました。しかし、
部活の試合をきっかけに諦めな
いことの大切さを知ることがで
きました。

私はソフトテニス部に所属し
ています。先月、個人戦の大会
があり、二回戦で強豪校の一番
手ペアと対戦することがありま
した。格上の相手ということも

あり、緊張しましたが、澤田先
生の「諦めずボールを返せばチ
ャンスはある」という言葉を胸
にひたすらボールを返り続けま
した。一セット目はレシーバー
でした。相手の鋭いサーブをな
んとか返しますが、容赦なくま
た鋭いボールが返ってきます。
しかし、ペアと声をかけ合い、
息を合わせたプレーをすること
ができました。最後の三セット

目では緊張が自信に変わり、自
分の力を最大限に発揮し、勝利
をつかみ取ることができました。
諦めず、一生懸命に取り組む
ことは、時に持っている力を超
えることがあるのかもしれない
ん、これからは何事も最初から
決のつけず、一生懸命に取り組
みたいと思います。

大山教頭先生へ、ご高師の女
性の方から以下のような電話が
ありました。

大事な話

市役所前の横断
歩道を足が不自
由な方が横
断していると、
残りの程になったところで、
青信号が点滅し始めたようです。
そのとき、附中生女子二人が、
「大丈夫ですか?」と言いなが
ら体を押しつづけて、無事に渡り
きることができた。たいへん嬉し
くて電話しましたとのことであ
た。
その方は、二人の附中生の名
前を聞けず後悔されている様
子でした。そして、ぜひ、その
生徒さんにお礼を言っていただ
きたいとのことでした。
附属中学校やご家庭でしっか
り教えられているので、そのよ
うな行動ができたのだと思いま
すと、少しうれし涙を言われ
ていたとのことでした。
教頭先生からの報告を受け、
私まで親切にされたよつなと
てもうれしい気持ちになりました。
だ。すばらしい附中生を誇りに
思います。

※本校のホームページで本年度バリエーションにリポートしました。見どころは、年間行事と生徒の様子。主な行事の様子と記事にしています。またお知らせのコーナーには、月行事や定表を掲載しています。附中の聲のコーナーもこれからどんどん充実していきます。ぜひ一度ご覧下さい。